

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
職業関連活動学		選択	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
浅野 克俊	C313	k.asano	月曜 10:40~12:10		
授業の目的・概要	障害者の就労支援を行うために、関係する制度を確認し、具体的な評価方法を学習する。就労形態とその実際については、事例を交えて理解を深め、評価方法は実際に演習を交えながら評価手法を学ぶ。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	障害者の就労を検討するためには、これまでに学んだ専門知識をまとめケースごとに生かしていくことが求められる。				
教科書	作業療法学全書 改訂第3版 第12巻 作業療法学技術学4 職業関連活動学 早川弘子編 協同医書出版				
参考書	標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 岩崎テル子編 医学書院				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	障害者の就労を支援するための法律や制度について、具体的に説明できる。			HSU(2)、PT(2)	
②	就労の評価方法と支援のポイントについて、それぞれ具体的に述べることができる。			PT(2)(3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	働くことの意義と作業療法士の就労支援について学習する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	3	
2	就労を支援する法制度、障害者の雇用形態、障害者の就労に関する支援機関と専門職種	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	3	
3	特例子会社、就労移行支援事業について学ぶ	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
4	就労継続支援 A 型、就労移行支援 B 型について学ぶ	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
5	就労支援の流れ、一般職業適性検査 (GATB) について学ぶ	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
6	VPI 職業興味検査、ワークサンプル法、モダブツ法、性格検査について学ぶ	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
7	Individual Placement and Support (IPS)、その他就労に関する最新の知見について学ぶ	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
8	職業関連活動学全体のまとめ	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
試	期末試験				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20	
評価の方法		評価のポイント					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書、板書内容および発表内容等に基づく問題を出題し、理解度を問う					研究室 (C313) またはリモート等で個別に振り返りを行う。
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験	本科目を担当する教員は作業療法士として 10 年以上の実務経験を有している。							
実践的授業の内容	教科書と併せて就労支援で用いられる検査・評価を実際に体験するとともに、文献検索を交えた発表を通して理解を深める。							
そ の 他	Teams を使用した同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限に使用できるインターネット環境を推奨する。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。							